

『ランラン星のテテロン ～宇宙の子から地球の子へ～』

(権正生作・鄭丞姫絵・倉橋葉子訳/展望社/2025 年5月刊)

セダリやマダリが住む地球星と、地球星を見て反省し、500 年かけて今の素朴な生活をしているランラン星を、子どもたちが行き来するファンタジックな権正生の長編童話作品です。2005 年 5 月に遺言書を書いたあとに、このままでは地球は大変なことになると危機感にかられていた権正生は、子ども雑誌に連載をつづけました。

ふりかえれば、第 2 次世界大戦と朝鮮戦争を体験した権正生は、戦争のない世の中はどのような社会なのかを考え続けました。1980 年半ばに電気が入った家のなかで、はたして童話が書けるのかと、油壺の灯りを恋しがりました。2003 年勃発のイラク戦争に韓国軍の派遣が決まると、“乗用車を捨て、小さな 15 坪の家を建て、自分が食べる分を自分の手で作り、そして余った時間は絵を描いたり文を書いたり、編み物、針仕事をしたりしてつつましく暮すべき”と訴えました。南安東にゴルフ場の建設の話が持ち上がって以来、暴力沙汰になるほどの事態や生態系の破壊を嘆かわしく思いつつ最後まで反対の意思を貫いた革命家だと評される生き方をしてきた権正生です。

科学文明に振り回されない子どもの姿を創作し、画家の鄭丞姫さんは、影絵タッチで一気にランラン星に飛び立ち、学校でたのしく勉強し、面白く遊ぶ農村の共同体の生活を描いています。さわやかな余韻を漂わせるなかに、反科学文明の側面をはっきりとさせた生きざまが見えてこないでしょうか。

読者の方から「地球とランラン星の子どもたちとの会話とお手紙のやりとりで進んでいく物語、はずむような楽しさに満ちていました。その内容も、子どもたちの本音そのまま、腹立ち、くやしき、驚き、疑問、喜び、待ち遠しさなどがまっすぐにえがかれている」との感想をいただきました。

倉橋葉子 (765 字)

どなたか 欲しい方は おらねたら
ご連絡下さいませ。 本を送ります。
kurahashi2821@ozzio.jp.

(本屋で 定価通りかある 送料込みで
1,500円です。 (図書館に リクエストして下さる
方は くれしいです。)

連絡先 倉橋葉子 〒183-0005 府中市若松町 3-18-54 板垣方 Tel:090-6145-3877

<口座: イタガキ ヨウコ ゆうちょう銀行 記号 10160 51096721

連絡頂ければ、頒価 1,500 円 (送料込み) でお頒けします。>